

「令和5年度伊達市経営に関する説明会議（月舘地域）」発言録

日 時：令和5年4月28日（金）

13時40分～14時20分

場 所：月舘ふるさとふれあいホール

参加者：42/44人

（自治会長、行政推進員）

市 長：説明「今年度の市政経営方針について」（要旨別紙参照）

【質疑応答】

健康・福祉

■医療機関について

行政推進員：月舘町から病院がなくなってしまった。高齢者が通院するのが大変なので病院を作ってもらいたい。

健康福祉部長：昨年の3月にせきね医院が閉院し、地域の皆様におかれましては不安に思われている方も多いと思います。月舘地域に限らず、伊達市内でも医療機関の閉院が出ている状況です。伊達医師会、福島県、関係団体と協議を重ね地域医療の体制強化を検討していきたいと考えております。また、皆様の移動手段（足の確保）も非常に重要ですので、関係部署と連携を図り進めていきます。

生活環境

■デマンドタクシーについて

行政推進員：3月いっぱい川俣、掛田間の路線バスが廃止されました。阿武隈急行につながる路線ありません。デマンドタクシーを利用し、乗り換えなしで保原に行けるようにするなど、市では方策を考えているのかお聞かせください。

市民生活部長：デマンドタクシーは3エリアに分かれています。一本化に向けて準備を進めているところです。乗り換えなく1回で保原まで行けるよう調整を進めています。また、現在は料金も各エリアでバラバラですので、料金統一化の見直しも進めているところです。

まちづくり・地域振興

■小手小リニューアル、防災無線について

行政推進員：小手小の内部はだいぶできましたが、外構が手付かずのようです。糠田には中央公民館がなく、小手小の一部を利用させていただくことは決まっていますが、10月にできるのかどうかわからないので、進行状況を教えてください。

もう一点、私の地域では防災行政無線が聞こえません。携帯電話も圏外となる場所があります。

未来政策部長：建物は概ね改修ができました。校舎と少し時間がずれますが、外構は今年度の事業としてやることになっています。校舎の地域での活用は、今後地元の自治組織の皆さまと具体的に協議したいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

危機管理担当：防災行政無線は市内76ヶ所に76基を設置しています。災害時の注意喚起や国民保護情報等を市民の方に迅速にお伝えする趣旨で設置しています。設置場所の環境、気象条件により聞き取りにくい地域があるのが現状です。その対策として、市で防災アプリを作成しています。アプリ内の行政無線聞き逃しサービスを利用していただくか、電話応答サービスのご利用をお願いいたします。電話応答サービスにお掛けいただくと直近で放送した内容を自動音声で確認することができます。

■耕作放棄地及び空き家問題について

行政推進員：高齢化が加速し耕作放棄地や空き家が増々増えてくることが予測されます。市ではどのように考えているのかお聞かせいただきたい。

産業部長：遊休農地を含めた耕作放棄地は、伊達市の中山間地域の深刻な問題として捉えています。耕作する方も減少し、維持管理する体制も厳しい状況と承知しています。市の対応としますと中山間地直接支払制度により、地域の農地保全を行っています。市内全域を含め、農地をどのようにしていくかを地域計画とする制度ができました。今後、ご意見をいただきながら計画を策定していきたいと考えております。

未来政策部長：空き家については、中山間地、市街地問わず親族や持ち主が遠方にいるため、地元での対応ができない等の相談があります。所有者や親族以外の方から相談を受けた場合は、市で土地所有者の方に連絡を行い、伊達市を含む近隣事業者等に連絡し管理をしてもらいたいと依頼しています。荒廃がひどい空き家については別な対応が必要ですが、現状としては適正な管理を依頼しているところです。また、新たな入居者を探すという方法もありますので、今後検討してまいりたいと考えております。